

早稲田大学グローバルエデュケーションセンター テニユアトラック教員（データ科学）募集要項

早稲田大学グローバルエデュケーションセンター（Global Education Center）では、テニユアトラック制度にもとづき、【データ科学】分野を担うテニユアトラック・ポジションの教員を募集します（※1）。早稲田大学のグローバルエデュケーションセンターは、「Waseda Vision150（※2）」で掲げる真に国際的な視野から物を見ることができる人材を育成する教育の場として設置されました。グローバルエデュケーションセンターでは「基盤教育」として、早稲田大学で学ぶ学生が学問を学ぶために必須の、同時に社会に出てからも知的な職業につく限り必須となる学術的なスキルを習得する教育を全学の学生に提供しています。また、「基盤教育」科目のほか、物事の本質を見極める洞察力を育む「リベラルアーツ教育」、多様な外国語や異文化理解力を鍛える「語学教育」を通じ、世界中のさまざまな価値観を学ぶうる多種多様な全学オープン科目を提供しています。今回人事募集を行うデータ科学は、上記の「基盤教育」の一分野です。特にテニユアトラック教員は、この分野の発展のための教育・研究に従事して頂きます。

※1 グローバルエデュケーションセンターにおけるテニユアトラック制度とは：

グローバルエデュケーションセンターのテニユアトラック制度とは、将来的に任期の定めのない専任教員になり得る人材を獲得するために、グローバルエデュケーションセンターが候補者をテニユアトラックの任期付き教員として採用します。採用後は、採用された教員が自己の専門領域における研究に加えてグローバルエデュケーションセンターの教育プログラムを推進・発展させていく役割について、責任を持って取り組む能力・資質をもち、その目的に向かって努力をしているかなどについて評価判断する審査を一定期間行った上で、任期の定めのない専任教員として採用する制度です。

任期の定めのない専任教員への任用は、テニユアトラック期間中の本人の教育・研究業績ならびに職務遂行に関する評価を勘案の上、グローバルエデュケーションセンターの教育プログラムを担える人材かどうかを多面的・総合的に評価・審査し決定します。

グローバルエデュケーションセンターテニユアトラック制度での採用の場合、原則として教授（任期付）、あるいは、准教授（任期付）の雇用形態で採用します（任期は、原則5年。ただし、最初の契約期間は3年。契約満了後、教育・研究業績、ならびに勤務状況等を考慮のうえ、2年以内の任期で契約を更新することができる）。4年目の終了時までには、テニユアを与える（任期の定めのない教員に身分変更する）か否かを本人に通知し、次のステップまでの準備期間を設けます。

採用にあたり、任期の定めのない専任教員の枠1名に対して、テニユアトラックの任期付き教員1名を採用します（複数のテニユアトラック任期付き教員に1ポストを巡る競争をさせることはありません）。

※2 Waseda Vision150 について：

早稲田大学では、教育力、研究力の継続的向上と、これを支える財務体質の強化と組織の改革を進めるための中長期計画として2011年12月にWaseda Vision 150を策定しました。“Waseda Vision 150”では、本学が創立150周年を迎える2032年に、①世界中から、世界に貢献する高い志をもった学生が早稲田に集い、②世界の平和と人類の幸福の実現に貢献する研究が行われ、③早稲田大学の卒業生（校友）が、世界の至る所で、また、あらゆる分野で、グローバルリーダーとして社会を支え、かつ、早稲田大学と緊密な協力関係を築いており、そして、④早稲田大学がアジアのモデルとなりうる運営体制を確立しているという姿（ビジョン）を思

い描き、そのビジョンの実現に向けて、いま何をなすべきであり、何をなすことができるかを考え、13 の核心戦略とそれを実現するための具体的なプロジェクト等を提示しています。

Waseda Vision150 ウェブサイト

<http://www.waseda.jp/keiei/vision150/index.html>

1. 希望する人材

- ・早稲田大学の理念、目的、社会における使命およびグローバルエデュケーションセンターが展開している教育プログラムを推進・発展させる役割について深く自覚し、自らの教育・研究および大学やグローバルエデュケーションセンターの運営等に対して、責任を持って誠実かつ果敢に取り組むことができる者。

- ・対象となる教育部門座長をはじめとしたグローバルエデュケーションセンターの教育プログラム関係者、および早稲田大学データ科学総合研究教育センターと協力し、チームの一員として、教育・研究活動に従事することができる者。

※グローバルエデュケーションセンターのデータ科学教育部門は早稲田大学データ科学総合研究教育センターと連携して教育・研究活動を展開しています。

- ・自己の専門領域における研究を行うとともに、教育活動を支える研究にも関心を有する者。
- ・本学の基盤教育に係わる事項に熱意をもって取り組むことができ、以下の条件すべてに該当していること。

- (1) 統計学を含むデータ科学に関する理論及び応用に十分な実績を有すること
- (2) 人文・社会科学分野の学生へのデータ科学の教育に関心を有すること
- (3) 「2. 大学での職務内容」に記載の業務ができること

2. 大学での職務内容（予定）

- (1) グローバルエデュケーションセンターのデータ科学教育に関する方針とカリキュラムの策定、データ科学教育部門設置の全学部生向け統計およびデータ科学関連科目の担当（オンデマンド授業の既設科目の運用および教室授業。原則として春学期4～6コマ、秋学期4～6コマ相当）と新教材の開発、セミナー等の企画等

「ご参考」2019年度のデータ科学教育部門の設置科目一覧は以下のURLより参照可能（P.50-P.51）

https://www.waseda.jp/inst/gec/assets/uploads/2019/03/Course-List_GEC-Offering_Jpn.pdf

- (2) グローバルエデュケーションセンターデータ科学教育部門に係わるコーディネータ業務（講師（任期付）、助手/助教、教育補助・教務補助への指導を含む）
- (3) 関連する会議・打ち合わせ会などへの出席およびそれらに関して必要な事務業務
- (4) グローバルエデュケーションセンターにおける教育・研究活動

※早稲田大学データ科学総合研究教育センターが保有する豊富な研究用リソースを用いた共同研究の展開も期待されます。

早稲田大学データ科学総合研究教育センター：<https://www.waseda.jp/inst/cds/>

- (5) その他、グローバルエデュケーションセンターが必要と認める諸業務

3. 募集内容・待遇

- (1) 受入機関：早稲田大学グローバルエデュケーションセンター
- (2) 募集人数：1名
- (3) 勤務形態：常勤（任期あり）
- (4) 採用日：2020年4月1日
- (5) 採用身分：テニュアトラック制度による教授（任期付）、または准教授（任期付）（※）
※採用時の受入職位は、原則として、教授（任期付）、または准教授（任期付）であり、その職位は、教育・研究業績と選考過程での評価等によって決定します。
- (6) 契約期間：2020年4月1日～2023年3月31日
※当該期間満了後、教育・研究業績、ならびに勤務状況等を考慮の上、2年以内の任期で契約を更新する場合がある。但し、本雇用契約に関する任期付教員としての契約期間は通算して5年を超えることができません。
※資格に関わらず2013年4月1日以降に本学と雇用契約がある場合は、雇用期間や再任用の有無・期間について、上記任期のとおりとならない場合があります。
- (7) 就業場所：早稲田大学 各キャンパス
- (8) 待遇
 - ①勤務時間等：所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は、本学規程による。なお、専門業務型裁量労働制を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段及び時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。
 - ②給与：本学規程による。詳細はお問い合わせください。
 - ③研究費・諸手当・通勤費：本学規程による。
 - ④休日：土曜日、日曜日、年末年始、国民の祝日、国民の祝日の一部に授業を実施することにより設ける臨時の休業日および大学創立記念日とする。ただし、大学があらかじめ授業を実施すると定めた日を除く。
 - ⑤休暇：労働基準法等法令に定められた休暇および、大学が特に定めた日（年始、夏季一斉休業等）
 - ⑥社会保険：厚生年金・健康保険・労災保険・雇用保険に加入する。

4. 応募資格

着任時に他で本務をもたない者、かつ以下の条件に該当していること。

- (1) 原則として、博士号取得者、かつ取得後概ね10年以内の研究者であること。
- (2) 大学等の高等教育機関における非常勤講師相当以上のデータ科学に関連する教育歴を有していることが望ましい。
- (3) オンデマンド教材開発の経験を有していることが望ましい。

5. 応募方法

応募書類（1）～（6）を応募者が送付し、（7）は推薦者から郵送またはEメールで送付する。

すべての応募書類を応募締切までに提出することで応募が完了する。

- (1) 履歴書（所定用紙）
- (2) 教育研究業績（所定用紙）

- (3) 主要な業績またはそれらの別刷もしくはコピー 3点以内
- (4) 最終学歴の学位取得証明書（コピー可）
- (5) 学部、修士課程および博士後期課程の成績証明書（原本のみ）
- (6) 志望理由および教育への抱負・研究計画（所定用紙）
- (7) 推薦状 1通以上（様式自由）

※(4)、(5)は、日本語または英語で作成されているものが望ましいです。

※(7) 推薦状は、応募締切までに指導教員または応募者の教育面、研究面において関連の強い教員や研究者より E メール（宛先：gec-apply@list.waseda.jp）もしくは郵送にて下記提出先まで送付してください。推薦状に推薦者への連絡が可能な電話番号と E メールアドレスを記載してください。また、E メールでの推薦状送付の場合は、推薦者が所属する大学等の組織の公式アドレスからの送付のみ受け付けます。

※原則、応募書類は返却しません。(3)の返却を希望する場合には、返信用封筒に所定の切手を添付のうえ、返却を希望する旨を明記した文書を同封してください。

6. 応募締切

2019年 10月 31日（木）必着（期限後の到着は、理由に関わらず認めない）

7. 選考

書類選考の上、面接を行う（交通費、宿泊費等の経費は全て応募者で負担のこと）。

- (1) 第一次選考（書類選考）

選考結果は、**2019年 11月 11日（月）**までに本人宛へ通知する。

- (2) 第二次選考（面接試験）

2019年 11月 24日（日）に実施予定。

8. 書類提出先

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学グローバルエデュケーションセンター事務所

※簡易書留郵便や宅配便等、追跡可能な手段で送付することとし、封筒に「テニュアトラック 教員（データ科学）応募書類在中」と朱記してください。

※グローバルエデュケーションセンター事務所への直接持参や推薦状を除く応募書類の電子ファイルによる提出は、理由に関わらず認めません。

9. 採用後の評価

採用後は、原則として前述の「1. 希望する人材」の要件を満たすか否かによって、任期の定めのない教員（専任教員）として任用するか否かについて評価を行う。

評価にあたっては、以下の評価基準の他、当初の教育・研究計画および毎年度初めに提出する年次計画に対する教育活動・研究活動に関する達成度や早稲田大学の専任教員採用基準等に照らして多面的・総合的な評価を行う。

- (1) 評価基準

①グローバルエデュケーションセンターの教育プログラムへの貢献

- ・グローバルエデュケーションセンターで展開している教育プログラムの推進・発展
- ・対象となる教育部門座長等グローバルエデュケーションセンターの教育プログラム関係者および早稲田大学データ科学総合研究教育センターとの協力、およびチームの一員としての教育・研究活動への従事
- ・講師（任期付）、助教、助手、大学院生の指導
- ・センターの運営等における責任のある誠実な取り組み

②教育活動

- ・分野別部門が提示する教育活動の条件の充足
- ・担当科目の教育内容
- ・教材・教授法の開発
- ・教育効果の確認と授業改善
- ・学生授業アンケートの結果による学生ニーズの把握と授業改善

③研究活動

- ・自己の専門領域における研究成果
- ・教育活動を支える研究成果

④教育・研究活動の公開等

- ・論文や著書等の適切な発表
- ・国内外の学会発表、招待発表
- ・研究・教育活動における表彰・受賞など実績があれば、評価に加味する

（２）評価手順

- ・テニュアトラック評価は毎年行い、１～２年目に年次評価、３年目に中間審査を行い、４年目の最終審査に合格することで、任期の定めのない教員（専任教員）への任用が決定する。
- ・テニュアトラックの審査とは別に最初の契約期間満了までに、教育・研究業績、ならびに勤務状況等を考慮のうえ、２年以内の任期で契約を更新するか否かの決定も行う。

10. 問い合わせ先

早稲田大学グローバルエデュケーションセンター 教員人事担当宛

TEL：03-3204-9196

FAX：03-6380-2859

E-mail：gec-apply@list.waseda.jp

早稲田大学グローバルエデュケーションセンター

URL：<https://www.waseda.jp/inst/gec/>

早稲田大学は、国際化、男女共同参画などダイバーシティの実現を推進している。教員採用・昇進の人事審査において、国籍、性別、信条、障がい等を理由とするいかなる差別も行なわないことを申し合わせている。

以 上